

みやま りんどう

令和8年度（2026年度）学校通信 第4号 令和8年7月23日発行



文責：近 藤 伸

「平等」≠「公平」

～多様な子供たちの「深い学び」を確かなものに（6年後を見据えて）～

学校の教育活動（毎日の授業や学校行事、日常の学校生活など）は何に基づいて行われているのか？都市部にある学校と地方の学校の間に教育格差が生じてしまうことがないように、一定の基準（水準）が必要となります。全国どの学校でも一定の水準が保てるよう、文部科学省が定めている教育課程（カリキュラム）の基準を「学習指導要領」といい、生徒たちの教科書や時間割は、これを基に作られています。

次期学習指導要領は **2030 年度から小学校で段階的に全面实施される予定〔高校は 2032 年度（令和14 年度）〕**で、文部科学省の中央教育審議会最終答申がこの8月にも出される予定です。

（学習指導要領は10年ぶりに改訂）

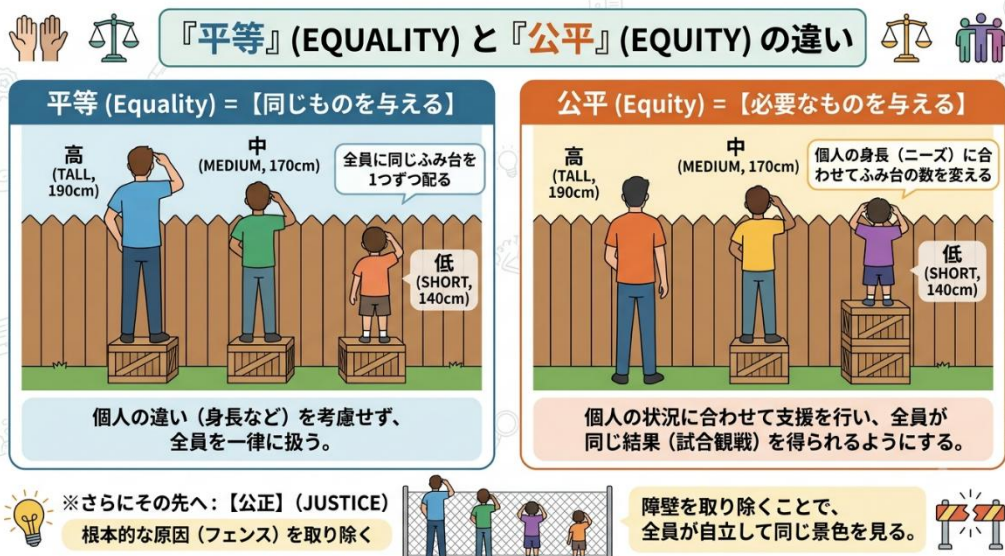
次期「学習指導要領」改訂の3つの方向性

- ・ 「主体的・対話的で深い学び」の実装（Excellence）＝ **深い学び**
- ・ 多様性の包摂（Equity）＝ **多様な子供たち**
- ・ 実現可能性の確保（Feasibility）＝ **確かなもの**

次期学習指導要領は、この3つの方向性が「**多様な子供たちの『深い学び』を確かなものに**」することであり、三位一体で具現化していくとしています。

これからの時代は、性別、年齢、国籍など、さまざまな違いを認め合う「多様性（ダイバーシティ）」とその違いを排除せず公平に受け入れ、誰もが自分らしく能力を発揮できる環境をつくる「包摂性（インクルージョン）」が学校の教育活動の中で、今まで以上に重要な視点となっていくことが想定されます。

つまり、個人の違いを考慮しないで、全員一律に扱う（**平等＝Equality**）のではなく、個人の状況に合わせて支援を行い、全員が同じ結果を得られるようにする（**公正＝Equity**）ということが求められ、上川高校でも日常の教育活動において「公正＝Equity」の意識を高めていく取組を実践していきます。



全員に同じものを配るのが **Equality**。必要に応じて違う対応ができるようにするのが **Equity**。

上川高校では、次期学習指導要領の改訂を見据えて、**情報教育の拡充**（小・中学校で「情報」教科新設、生成 AI の活用、メディアリテラシー育成。）や**柔軟な教育課程編成**（学校や地域の実情に応じた教科設定（調整授業時数）や探究学習重視。）など、今まで以上に「**学びをデザインする教師**」として、研鑽を積んでいきますので、保護者の皆さま、地域の皆さまもご協力をお願いいたします。

8月		
日	曜	行 事
1	土	地域みらい説明会（札幌OL）
2	日	地域みらい説明会（札幌OL）
3	月	
4	火	
5	水	上川高校同窓会総会
6	木	
7	金	石狩川クリーンアップ作戦
8	土	
9	日	
10	月	
11	火	山の日
12	水	学校閉庁日
13	木	学校閉庁日
14	金	学校閉庁日
15	土	
16	日	
17	月	
18	火	
19	水	お試し留学（町連携事業） 職員会議 学校説明会
20	木	お試し留学・学校説明会（町連携事業） 全校集会（始業）
21	金	お試し留学（町連携事業）
22	土	数学検定①
23	日	
24	月	
25	火	
26	水	1年理探 水質調査4
27	木	
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	

学校説明会のご案内

8月19日（水）13:30～

申込みは → 01658-2-1409

本校教頭にお電話ください。

受験生と保護者はもちろん、上川高校の「今」を知りたい皆さんの参加をお待ちしています。

7月10日（金）から3日間にわたり、上高祭が開催されました。

メインテーマは「THE 上高祭～瞬を永遠の思い出に～」

初日は、生徒会企画。天候にも恵まれず体育館で、縦割り（学年混合）で3チームに運動の部。障害物競走やリレー。体育館では綱引きやプラズマカー競争、気配切り。

2日は一般公開の日。あいにくの雨模様ではありましたが、クラス（学年）による催し物。カニすくい、綿あめ・ポテト・焼き鳥・さけから伯爵（からあげ）等の販売。体育館では、クラスパフォーマンス、個人芸能などなど。そして今年度も花火を打ち上げることができ、生徒たちが趣向を凝らして学校祭を楽しんでいました。また、多くの方（延べ人数で200人以上）に来校していただきありがとうございました。

生徒会の生徒達を中心にして「温かい、気持ちのいい学校祭」「上高生の可能性（ポテンシャルの高さ）」を再認識させられた3日間でした。当日は、PTAの皆様をはじめとして、保護者のご協力もいただき、カレーライス販売、亀パン販売そして夕食の豚汁やおにぎりまでも作っていただきました。そして、大雪ヌクモとコラボしたeスポーツ場の開設など、多くの方のご協力をいただき紙面ではありますが御礼申し上げます。高校生にとって「学校祭」は、1年のうちで最も大きな行事です。クラスメートとの絆を深めたり、時には意見が対立することもあります。しかし、この「学校祭」というのは、生徒達が一番成長できる時期でもあり、来年度は更に進化した上高祭になることを期待しています。

